



## ○本事業による成果

・教員の働き方改革の観点から、活動への教員の従事はなく、参加者の所属校の教員は自由参観とした。参観された教員並びに京都市教育委員会からは、教科と結びつけて伝統文化・伝統技術を深く学ぶプログラムとして高い評価を得た。また、本事業がパッケージとして提供される場合に授業などで活用したいかどうか、参観された教員にアンケート調査を行ったところ、100%(有効回答数13)が活用したいと回答。本事業で得られた知見を普及させる手段として、各プログラムをパッケージ化することを今後検討したい。

・参加者へのアンケートからは、学びの楽しみを得て、得られた知識を多角的に、自分ごととして捉えようとする様子が伺えた。また保護者へ実施した事後アンケートからは、本事業を通じて着物を身近に感じ、日常生活に様々な気づきや変化がもたらされたことが示唆された。(添付のアンケート分析を参照)

・学校の部活動との関係性については、今回の運営体制では月1~2回程度の実施が限度となるが、他の部活動や習い事との掛け持ちをしたい生徒や頻度の高い活動を希望しない生徒の受け皿として成り立つのではないかと考える。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

・実施時期や体制、学習指導要領との整合性などについて教育委員会に事前に指導を仰いだ。参加対象者の学年は、中学校および義務教育学校後期課程の1(7)年生から3(9)年生となり参加者によって学習範囲に差があるが、学びの意欲を考慮しプログラム内容は3(9)年生に合わせることにした。

・知識の提供だけでなく、教科を横断する様々なワークショップや、普段見ることのできない技術者やデザイナーの実演を交えることで、参加者の主体的な学びを引き出すような構成とした。

## ○運営上の工夫

・学校で学ぶ教科と関連づけながらも、学校では学ぶことのできないプログラムの質を確保するため、各分野の専門家を指導者として招聘。その上で、難易度は教育委員会に確認を行い、プログラムの構成は教育工学の専門家を交えて検討を重ねた。

・プログラムのファシリテートは、教育工学の専門家が担当し、プログラムの導入部分で参加者の興味関心を惹きつけるよう工夫を行った。

・運営補助に大学生アルバイトを起用し、ワークショップを通して中学生と交流を図った。教育機関等との連絡調整は教育委員会に委ねたが、保護者・教員にもプログラムを参観してもらい、活動へのフィードバックを得た。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

・今回の試みより、教育委員会との連携協力体制を構築できた

・プログラムの指導者となる専門家の人材確保は、事業者のネットワークで今後も十分対応が可能である。また、会場も継続して無料利用が可能である。

・ファシリテートについては、今回は教育工学の専門家に委ねたが、大学と連携を図るなど人材を育成することも視野に入れたい。

・資金調達に関しては、本事業のためのファンドの設立を検討中である。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

教員へのアンケート調査により、本事業をパッケージとして提供することで、より広がりのある活動となる可能性が示された。プログラムの教材開発を、視聴覚教育やメディア論を専攻する芸術大学の学生とICTの活用も視野に共同開発するなど、より多くの生徒が活用・参加できる方向を検証したい。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	中学生16名
	学校名	京都市立上京中学校、京都市立中京中学校、京都市立下京中学校、京都市立西京極中学校、京都市立西京高校附属中学校、京都市立京都御池中学校、気京都市立二条中学校、京都教育大学附属小中学校、同志社中学校、花園中学校
	募集方法	2022年8月より京都市教育委員会が市内の中学校の校長を訪問しチラシを配布、同時に京都市情報誌およびウェブサイト「京わくわくのトビラ」へ掲載。参加希望者は、千總文化研究所の公式ウェブサイトより申し込み。
指導者	人数等	講義・実演担当:6名、当団体団員:2名、運営補助:6名
	募集方法	運営主体が持つ研究者や技術者、教育機関とのネットワークを活用
参加者の移動手段		公共交通機関または保護者の送迎
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金:5100円/時間、指導者交通費:実費(6名総額:418,260円)、運営補助アルバイト賃金:1050円/時間、交通費:実費(5名総額:8200円)
	その他	ワークショップ材料費:8500円/人、千總ビル5階ホール:無料
活動財源	会費	0円
	その他	委託費
スケジュール	基本活動	【実施回数】月1～2回(土曜または日曜)実施。計5回 【実施時間】午前10時～正午(途中休憩あり)
	年間	【実施日】 2022年10月22日(土):第1回「色ってなんで見えるの？」 2022年11月5日(土):第2回「職人技ってどんな技？」 2022年11月20日(日):第3回「きものに描かれているものは?①」 2022年12月4日(日):第4回「きものに描かれているものは?②」 2022年12月17日(土):第5回「デザイナーって何をつくる人？」
保険加入等		スポーツ安全保険(800円/年)参加者16名、指導者・運営14名。費用は委託費より支出

## 【活動の様子（写真添付）】



第1回ワークショップー京都を3色で表現しようー



第3回講義ー植物の生態を知ろうー



第2回ワークショップー染色の世界を探求しようー



第4回ワークショップーモチーフが語るものは？



第2回実演ー職人技って？



第5回実演ーデザイナーって？